

第13回滋賀県がん医療フォーラム

がんの在宅医療

無料・
登録不要

YouTube 配信

配信期間

令和4年 2月1日(火)～2月28日(月)

配信方法

YouTubeによるオンライン配信

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/gan/gankyougikai/index.html>

質問を
受け付けます

受付期間：令和4年2月1日(火)～2月15日(火)

質問受付専用アドレス：forum13@mdc.med.shiga-pref.jp

※質問や感想、ご意見、今後希望するテーマ等ありましたらお送りください

※質問受付期間を過ぎたものは受付できませんのでご注意ください

※回答可能な質問については2月下旬ごろにホームページに公開いたします

最新の情報は滋賀県がん診療連携協議会のホームページでご確認ください。

滋賀県がん診療連携協議会



講演

■知っておきたい社会資源 ～がん相談支援センターのご紹介～

滋賀県立総合病院 地域医療連携室 主査 岡村 理

■薬剤師の在宅訪問について

一般社団法人滋賀県薬剤師会 常務理事／オリーブ薬局 管理薬剤師 大西 延明

■在宅療養支援チームにおける薬剤師の役割

有限会社丸山薬局（栄養ケア・ステーション丸山薬局）

管理薬剤師（プライマリ・ケア認定薬剤師） 大石 和美

特別講演

■がんの在宅医療・在宅緩和ケア 入門編

医療法人拓翔会 岸本産婦人科（在宅医療部門） 理事長 岸本 拓磨

講演概要

★知っておきたい社会資源 ～がん相談支援センターのご紹介～

滋賀県立総合病院 地域医療連携室 主査 岡村 理

よりよい療養生活を送るためには、
今後どこでどのように過していきたいか、
治療やケアの希望について、
あらかじめ自身で考えたり、大切な人と話し合ったり、病院にかかっておられる方は医療従事者と話し合うことが大切です。
そのうえで、在宅療養を続けたいと考えられたとき、知っておきたい社会資源についてお話します。

★薬剤師の在宅訪問について

一般社団法人滋賀県薬剤師会 常務理事／オリーブ薬局 管理薬剤師 大西 延明

昨今、自宅や施設で療養生活を送られる方が増えています。病状にもよりますが、数種類の薬が処方され、飲み忘れや飲みすぎなど適切な服薬ができていないケース、または複数の医療機関を受診することにより重複投薬がされているケースもあります。

そのようなケースに薬剤師が対処することで、結果的に患者さんのQOL(生活の質)や治療効果の向上に繋げることができます。

薬剤師による在宅訪問の認知度はまだまだ低いですが、実際にどのような形で薬剤師が関わっているのかを症例を交えてお話します。

★在宅療養支援チームにおける薬剤師の役割

有限会社丸山薬局(栄養ケア・ステーション丸山薬局)
管理薬剤師(プライマリ・ケア認定薬剤師)

大石 和美

地域の方が病院から退院し、ご家族と自宅で過ごしたいと希望されるときには、「在宅療養の支援をする仲間」がいます。我々は、患者さんやそのご家族の痛みや不安、あるいは心配を少しでも和らげられるよう、そして、安心して住み慣れた地域で暮らせますようにお手伝いをいたします。薬局薬剤師は、そのような在宅チームの一員として、病院薬剤師とタッグを組み、みなさま方にとっての安心安全な薬物治療を、病院から在宅へと切れ目なく提供いたします。

★がんの在宅医療・在宅緩和ケア 入門編

医療法人拓翔会岸本産婦人科(在宅医療部門) 理事長 岸本 拓磨

癌治療を受けて根治される方がおられる一方で、残念ながらお亡くなりになる方もおられます。治療不能な状態、癌末期と判断された時、患者本人のみならず、ご家族もショックを受けられます。どうしていいか分からず困惑されている方も多くおられます。今回の講演では、医療と介護の違い、病院と自宅での療養の違い、どのようにすれば在宅医療・在宅緩和ケアを受けられるのか、希望する最期を迎えられるのかをお話させていただきます。在宅療養、在宅緩和ケアとなれば不安になって当然です。少しでも在宅療養されている方々のご不安を解消する一助となれば幸いです。